

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体執行理事 清原淳平

交通部会のお知らせ(第290回)

日時 令和5年1月24日(火) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 地下1階 B108会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差します。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B108会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、開会挨拶

挨拶 吉村幸晴交通部会長代理(元鳥取県警本部長)

2、「道路交通法施行令の一部を改正する政令案」等に対する意見の募集について

3、令和4年中の交通事故死者数について

解説 警察庁交通企画課 水田隆三課長補佐(警視)

報告

去る令和4年12月23日開催の第289回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われた。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶があった。昭和45年の交通事故死者数は最多の16700人を記録した。そこから、3E政策(教育 Education・取締 Enforcement・技術 Engineering)を掲げ、免許取得時だけでなく小中学校からの交通ルール教育、取り締まりの徹底と反則金を財源にした交通環境整備で事故減少に取り組んだ。そこから1万人を切るに当たり、3Eに加え、車両台数の増加幅の減少、車両の性能向上、(シートベルト着用的一般道での義務化に始まり自動ブレーキシステムの搭載など)、高齢運転者対策(認知機能検査と実技試験の導入、免許自主返納

の増加)などによって、令和3年は2636人にまで減少した。さらなる減少のためには、高齢歩行者対策の強化がカギになる。車両には歩行者優先の意識を、歩行者も交通ルール順守の意識が必要になる。

次に、警察庁交通局交通企画課水田隆三課長補佐(警視)より、「道路交通法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案等」について、解説があった。国の自動運転ロードマップでは、2025年に全国40箇所で無人自動運転移動サービスの実現と高速道路での自動運転レベル4(トラックの隊列走行など)の実現を目指している。道交法では、遠隔操作型自動運転の許可制度の創設と、歩行者用信号に従うことを規定する。下位法令では、道路標示の方法、交通事故時の処理などの細かい規定を定めた。これらは1年以内に施行予定である。自動運行主任者は、視聴覚の喪失などの欠格事由はあるが、免許の保有については要件になっていない。遠隔操作型は電動車椅子と同じ6km/h以上は出せない構造になっているので、新たな交通ルールの周知に努め、歩行者の安全を図る。

次に、「交通事故統計(令和4年11月末)」について解説があった。11月の死者数は昨年比1人の増、10月は減少したため、本年合計は2330人で昨年比22人の減である。

解説の後、以下の趣旨の意見交換があった。○チャイルドシート着用と付着用では、致死率は3倍(令和元～3年のデータ)と、シートベルトほど大きな差はついていない。○高齢者講習の実技試験が一部の県では5か月待ちもあるようだ。

最後に、6年半交通部会長を務められた松本治男部会長が今回をもって退任されるため、清原淳平代表兼執行理事及び参加者一同から慰労の言葉があり、閉会した。

★資料代 会員500円

1月24日(火)の交通部会(参議院B108)

出・欠 (いずれかに○印)

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

電話

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(非会員の会費は二千元となります。)